

災 害 救 護 速 報

平成 28 年 5 月 10 日 (火) 15:00 現在
事業局 救護・福祉部 救護課
TEL: 03-3437-7084/FAX: 03-3435-8509

※内容・数値等は、随時更新されます
※下線部は前回速報からの追加・変更箇所

平成 28 年熊本地震災害に対する日本赤十字社の対応について (18)

4 月 14 日 (木) 以降に熊本県で発生した地震被害に対する日本赤十字社の対応は以下のとおりです。

1 日本赤十字社の対応

(1) 救護班等の活動

日本赤十字社の救護班等は、各地の避難所における医療救援や巡回診療、医療ニーズの調査等を行っています。また、益城町総合体育館、にしはら保育園、南阿蘇中学校において dERU (※) を設営し、被災された方々の診療にあたっています。

※ dERU とは、大規模災害発生後、一刻も早く被災地における診療を開始することを目的として、仮設診療所設備とそれを運ぶトラック・自動昇降式コンテナと訓練された職員、そしてそれらを円滑に運用するためのシステムの総称です。



地域を巡回し被災者の声を聞く医療救護班 (御船町)

ア 活動中（5月9日（月）00:00～10日（火）00:00）

ブロック	派遣元		派遣救護班	派遣圏域	活動場所
	支部	施設			
第1 ブロック	<u>北海道支部</u>	<u>北見赤十字病院</u>	<u>救護班 1 班</u>	<u>上益城圏域</u>	<u>益城町総合体育館</u>
第2 ブロック	<u>神奈川県支部</u>	<u>相模原赤十字病院</u>	<u>救護班 1 班</u>	<u>阿蘇圏域</u>	<u>西原村</u>
第3 ブロック	<u>長野県支部</u>	<u>諏訪赤十字病院</u>	<u>救護班 1 班</u>	<u>上益城域</u>	<u>保健福祉センター はびねす</u>
第4 ブロック	大阪府支部	大阪赤十字病院	救護班 1 班	阿蘇圏域	南阿蘇村
	兵庫県支部	神戸赤十字病院	救護班 1 班	阿蘇圏域	南阿蘇村
	奈良県支部	市立奈良病院	救護班 1 班	阿蘇圏域	南阿蘇村
第5 ブロック	<u>岡山県支部</u>	<u>岡山赤十字病院</u>	<u>救護班 1 班</u>	<u>上益城圏域</u>	<u>益城町総合体育館</u>
	広島県支部	<u>広島赤十字・原爆病院</u>	<u>救護班 1 班</u>	<u>上益城圏域</u>	<u>保健福祉センター はびねす</u>
第6 ブロック	宮崎県支部	宮崎大学医学部附属病院	救護班 1 班	上益城圏域	広安西小学校、 益城中央小学校他
合計			<u>9 班</u>	—	

イ 活動終了（5月9日（月）00:00 現在）

ブロック	活動終了まとめ
本社	救護班 1 班
第1ブロック	dERU 1 班、救護班 <u>11 班</u>
第2ブロック	dERU 1 班、救護班 <u>18 班</u>
第3ブロック	救護班 <u>14 班</u>
第4ブロック	dERU 2 班、救護班 <u>30 班</u>
第5ブロック	救護班 <u>33 班</u>
第6ブロック	救護班 <u>24 班</u>
合計	dERU 4 班、救護班 <u>131 班</u>

上記の他、複数の赤十字病院から現地に DMAT を派遣しています。

(2) 日赤災害医療コーディネーターチームの派遣

日赤災害医療コーディネーターチームを熊本県支部災害対策本部及び、御船地区、阿蘇地区等に派遣し、救護班の活動調整や医療救護関係機関等との調整・協議にあたり、医療救護活動の戦略案の策定や、熊本県支部災害対策本部への助言等を行っています。現在の派遣状況は以下のとおりです。

派遣元	活動場所
石巻赤十字病院	上益城圏域
大津赤十字病院	災害対策本部付
熊本赤十字病院	南阿蘇圏域



災害医療コーディネーター（熊本県支部）

(3) こころのケア活動

長引く避難所生活を送っている被災者に対して、こころのケア要員が心身のケアを行っています。また、こころのケア要員による職員等の心身のケアや、こころのケアコーディネーター要員による関係機関との連絡・調整等も行っています。

派遣者	派遣元	人数（人）	活動場所
こころのケア要員 (被災者支援)	旭川赤十字病院	1	西原村 益城町
	小清水赤十字病院	1	
	清水赤十字病院	5	
	日本赤十字北海道看護大学	1	

こころのケア要員（病院・支部職員等の支援）	武蔵野赤十字病院	2	熊本県支部及び 熊本赤十字病院、 <u>益城町</u>
	大森赤十字病院	1	
	本社	1	
コーディネート要員	<u>幹部看護師研修センター</u>	<u>1</u>	熊本県支部等
	<u>原町赤十字病院</u>	<u>2</u>	
合計		<u>15</u>	

上記の他、これまで 23 名が活動を終了しています。

(4) 医療支援要員の派遣

下記のとおり、複数の赤十字病院から熊本赤十字病院に第5次医療支援要員を派遣しています。

派遣者	人数（人）
医師	14
看護師	30
事務職員	6
合計	50

上記の他、第1次医療支援要員 医師 16名、看護師 25名

第2次医療支援要員 医師 8名、看護師 30名、事務職員 4名

第3次医療支援要員 医師 14名、看護師 30名、事務職員 5名

第4次医療支援要員 医師 11名、看護師 30名、事務職員 5名

が活動を終了しています。



全国の赤十字病院から集結した医療支援要員（熊本赤十字病院）

(5) 本社及び支部の対応

本社において、14日21時39分に熊本県支部あて被害状況等の情報収集を依頼し、21時50分、第2次救護体制を発令しました。参集した職員約40名は情報収集等を実施し、23時35分、災害対応のための協議を実施しました。その後現在に至るまで24時間体制で対応調整等を実施しています。

また、各支部において職員が情報収集等を実施しています。

なお、本社からの現地への職員派遣状況は以下のとおりです。(本社から派遣している支部、施設職員を含む。)

派遣内容		活動日程		人数 (人)	主な活動場所
		開始	終了		
支部支援	第14班	5月7日(土)	5月11日(水)	1	熊本県支部
	第15班	5月7日(土)	未定	1	熊本県支部
	第16班	5月9日(月)	5月17日(火)	1	熊本県支部
	第17班	5月10日(火)	5月14日(土)	1	熊本県支部
広報	第12班	5月7日(土)	5月10日(火)	1	熊本県内各域
	第13班	5月8日(日)	5月11日(水)	1	熊本県内各域
	第14班	5月10日(火)	5月13日(金)	1	熊本県内各域
病院支援	第8班	5月7日(土)	5月12日(木)	2	熊本赤十字病院
ボランティア	第5班	5月7日(土)	5月11日(水)	1	熊本県支部
合計	9班	—	—	10	—

上記の他、これまで45班 76名が活動を終了しています。

(6) 救援物資の配布状況

避難所等に避難されている方々に対して、救援物資を配布しています。



避難所で安眠セットを配布 (益城町総合体育館)

○救援物資配分状況一覧

ブロック	本社・支部	品目				送付先
		毛布	安眠セット	緊急セット	ブルーシート	
—	本社				5,000	熊本県支部
第2 ブロック	東京都支部				1,000	熊本県支部
	神奈川県支部				800	
	茨城県支部				700	
第3 ブロック	長野県支部		2,150			熊本県支部
	愛知県支部		850			
第4 ブロック	大阪府支部 (高槻赤十字病院)	3,000		150		熊本県支部
第5 ブロック	岡山県支部	3,000	220			熊本県支部
	広島県支部	2,000	629			大分県支部
		2,500				
	山口県支部	1,000				熊本県支部
	徳島県支部	1,000				
	香川県支部		1,000			
	愛媛県支部	1,000				
第6 ブロック	福岡県支部	2,400			200	熊本県支部
			1,300		500	大分県支部
	佐賀県支部	580	50			熊本県支部
	長崎県支部		202			
	宮崎県支部	1,000			3,000	
	大分県支部	500		504		
鹿児島県支部	1,000					
—	合計	18,980	6,401	654	11,200	—

(7) 赤十字ボランティアの活動状況

ア 熊本県支部

4月15日(金)から、赤十字奉仕団・防災ボランティア等が救援物資の運搬や在庫管理等を実施し、16日(土)からは県外からの救護班に同行しての現地の案内等を行っています。また、17日(日)14:00に、熊本県支部の業務支

援を目的として、「熊本県支部災害ボランティアセンター」を立ち上げました。

防災ボランティアは、4月22日（金）から5月8日（日）まで益城町災害ボランティアセンターにおいて情報収集を継続して行いました。

イ その他都道府県支部

4月15日（金）から、赤十字防災ボランティア等が救援物資の積み込み、運搬等の活動を開始しました。また、複数の支部のボランティアが熊本県支部災害ボランティアセンターでも活動しています。



被災状況の情報収集にあたる防災ボランティアと青年奉仕団員（熊本県支部）

(8) 義援金の募集

日本赤十字社では、被災された方々の生活再建の一助とするため、以下のとおり義援金を受け付けています。お寄せいただいた義援金は、被害状況に応じて按分され、各被災県に設置された義援金配分委員会を通じ、全額を被災された皆様にお届けします。

受付状況

件数	金額	備考
233,638件	73億9,492万5,076円	平成28年4月28日現在

送金状況

送金先	金額	備考
熊本県配分委員会	30億9,382万2,838円	平成28年4月21日集計分

ア 義援金受付名 「平成28年熊本地震災害義援金」

イ 受付期間

(ア) 熊本県支部 平成28年4月15日(金)～平成28年6月30日(木)

(イ) 大分県支部 平成28年4月22日(金)～平成28年6月30日(木)

ウ 協力方法

(ア) 銀行振込(熊本県支部での受付)

①肥後銀行 三郎支店 普通 591893

②熊本銀行 日赤通支店 普通 3087071

※ 口座名義はいずれも「日本赤十字社熊本県支部 支部長 ^{カバシマ} 蒲島 ^{イクオ} 郁夫」

※ ご利用の金融機関によっては、振込手数料が別途かかる場合があります。

※ 受領証の発行をご希望の方は、その旨を熊本県支部あてにご連絡くださいますようお願いいたします。

[担当窓口] 日本赤十字社熊本県支部 振興課 あて

TEL: 096-384-2120 FAX: 096-383-9486

(イ) 銀行振込(大分県支部での受付)

①大分銀行 ソーリン支店 普通 7507846

②大分県信用組合 本店営業部 普通 4098496

※ 口座名義はいずれも「日本赤十字社大分県支部 支部長 ^{ヒロセ} 広瀬 ^{カツサダ} 勝貞」

※ 同一金融機関の本支店間の振込手数料は免除されます(ATM除く)。

※ 受領証の発行をご希望の方は、その旨を大分県支部あてにご連絡くださいますようお願いいたします。

[担当窓口] 日本赤十字社大分県支部 総務課 あて

TEL: 097-534-2236 FAX: 097-533-6795

(ウ) 銀行振込(日本赤十字社本社での受付)

①三井住友銀行 すずらん支店 普通 2787530

②三菱東京UFJ銀行 やまびこ支店 普通 2105525

③みずほ銀行 クヌギ支店 普通 0620308

※ 口座名義はいずれも「日本赤十字社」

※ ご利用の金融機関によっては、振込手数料が別途かかる場合があります。

※ 受領証の発行をご希望の方は、インターネットから事前にご登録のうえお振込みくださいますようお願いいたします。事前登録画面で「受領証希望」を選択いただきますと、後日ご登録のご住所に郵送させていただきます。

※ 事前登録がうまくいかないなどの場合は、受領証の発行を希望される旨を日本赤十字社本社あてにご連絡くださいますようお願いいたします。

[担当窓口] 日本赤十字社本社パートナーシップ推進部

TEL: 03-3437-7081 FAX: 03-3432-5507

(エ) 郵便振替（日本赤十字社本社での受付）

① ゆうちょ銀行・郵便局

口座記号番号 00130-4-265072

口座加入者名 日赤平成28年熊本地震災害義援金

※ 窓口でのお振り込みの場合は、振込手数料は免除されます。（ATMによる通常払込み及びゆうちょダイレクトをご利用の場合は、所定の振込手数料がかかります。）

※ 窓口でお受け取りいただきました半券は、受領証に代えることができます。（寄附金控除申請の際にご利用いただけますので、大切に保管してください。）

※ 窓口以外（ゆうちょダイレクト等）でのお振込みで受領証をご希望の場合は、「受領証希望」の旨と下記①～⑧を日本赤十字社パートナーシップ推進部あてFAXにてご連絡をお願いいたします。

① 義援金名 ② 氏名（受領証の宛名） ③ 住所 ④ 電話番号 ⑤ 寄付日

⑥ 寄付額 ⑦ 振込人名 ⑧ 口座番号

〔担当窓口〕 日本赤十字社本社パートナーシップ推進部

TEL: 03-3437-7081 FAX: 03-3432-5507

(オ) 全国の信用金庫

取扱期間：平成28年4月18日（月）～6月30日（木）

受付窓口：全国265信用金庫の本支店（約7400店舗）

※ 詳細については、全国の各信用金庫に直接お問い合わせください。

2 災害の概要（気象庁調べ：4月24日（日）7:40現在）

(1) 主な地震発生状況

- ・ 4月14日（木）21:26 最大震度7（M6.5）
- ・ 4月15日（金）00:03 最大震度6強（M6.4）
- ・ 4月16日（土）01:25 最大震度7（M7.3）

(2) 4月16日（土）未明の地震（本震）の概要

発生時刻：平成28年4月16日（土）1時25分頃

震央地名：熊本県熊本地方（北緯32.8度、東経130.8度）

震源の深さ：約10km（暫定値）

規模：マグニチュード7.3（暫定値）

各地における震度：（震度5弱以上が観測された地域）

※ 下表は14日に発生した前震と断続的に発生した余震の震度を含むこと。また、複数回の地震が観測されている地域については、最大震度に掲載していること。

震度 7	熊本県	益城町、西原村
震度 6 強	熊本県	南阿蘇村、熊本市中央区、熊本市東区、熊本市西区、菊池市、宇城市、合志市、大津町、宇土市、嘉島町
震度 6 弱	熊本県	阿蘇市、熊本市南区、熊本市北区、八代市、玉名市、菊陽町、御船町、美里町、山都町、氷川町、和水町、上天草市、天草市
	大分県	別府市、由布市
震度 5 強	福岡県	久留米市、柳川市、大川市、みやま市
	佐賀県	佐賀市、上峰町、神埼市
	長崎県	南島原市
	熊本県	南小国町、小国町、産山村、高森町、山鹿市、玉東町、長洲町、甲佐町、芦北町
	大分県	豊後大野市、日田市、竹田市、九重町
	宮崎県	椎葉村、高千穂町、美郷町
震度 5 弱	愛媛県	八幡浜市
	福岡県	福岡市南区、遠賀町、八女市、筑後市、小郡市、大木町、広川町、筑前町
	佐賀県	白石町、みやき町、小城市
	長崎県	諫早市、島原市、雲仙市
	熊本県	荒尾市、南関町、人吉市、あさぎり町、山江村、水俣市、津奈木町
	大分県	大分市、臼杵市、津久見市、佐伯市、玖珠町
	宮崎県	延岡市
	鹿児島県	長島町

津波：津波注意報 平成 28 年 4 月 16 日（土） 1 時 27 分 気象庁発表
 有明・八代海
 16 日 2 時 14 分 解除

3 災害救助法の適用

現在、熊本県内の全45市町村において、継続した救助活動が必要とされるため、災害救助法が適用されています（平成28年4月15日内閣府公表）

4 被害の状況 (消防庁調べ: 5月9日(月) 10:00 現在)

都道府県名	人的被害			住家被害		
	死者	負傷者		全壊	半壊	一部損壊
		重傷	軽傷			
	名	名	名	棟	棟	棟
山口県						3
福岡県		1	17		1	230
佐賀県		4	9			
長崎県						1
熊本県	<u>67</u>	<u>341</u>	<u>1,249</u>	<u>2,618</u>	<u>3,964</u>	<u>24,929</u>
大分県		4	22		3	<u>1,021</u>
宮崎県		3	5		2	20
合計	<u>67</u>	<u>353</u>	<u>1,302</u>	<u>2,618</u>	<u>3,970</u>	<u>26,204</u>

5 避難所の状況 (消防庁調べ: 5月9日(月) 10:00 現在)

都道府県名	避難所数	避難者数	時点	
			日	時
熊本県	<u>342</u>	<u>13,883</u>	<u>8</u>	13:30
大分県	<u>1</u>	<u>4</u>	<u>8</u>	13:30
合計	<u>343</u>	<u>13,887</u>	—	—

福岡県は25日午前9時、長崎県は27日18時50分、宮崎県は28日午前8時に避難所を閉鎖しています。